

## 安全と安心を支える若い力



### 特集

### そこが聞きたい！ 議会Q&A

第2回定例会	2~3
常任委員会レポート	4~5
一般質問	6~11
承認可決した条例等	12~13
あすの東御市	14~15
議会Q&A	16~17
私の一言	18



東御市消防団小型ポンプ操法・ラッパ吹奏大会

# 防災計画と自然エネルギーを考える

## 一般会計補正予算の主な内容

(単位:万円、1万円未満四捨五入)

内 容	補正予算額
職員駐車場借地料	63
グループウェア更新整備委託料	1,000
緊急雇用創出事業臨時職員賃金	103
医療材料費	2,986
個別予防接種委託料(注)	△2,686
森林整備地域活動支援交付金	96
新規学卒者雇用促進事業補助金	300
安心こども基金事業都市公園遊具更新工事費	582
住宅リフォーム補助金	1,000
バリアフリー美術館事業費	139

(注) 医療材料費への予算組替えのため



大津波に見舞われた宮城県気仙沼市街地

## 震災から何を学ぶか

### 一般質問で議論

平成23年第2回定例会は6月2日から24日までの23日間にわたり開催されました。議案は平成23年度一般会計補正予算など10件が提案され、それぞれ承認・可決されました。今回の議会で特徴的だったことは、東日本大震災・長野県北部地震・福島原発事故をふまえて、防災計画の見直しと、自然エネルギーについての議論がおこなわれたことです。一般質問に立った11名の議員のうち9名の議員が、この問題を取りあげていました。

一般質問においては議員一人ひとりが様々な角度から多面的に質問を行っていたことが印象的でした。小山議員は地域防災計画と放射線測定・自然エネルギー、阿部議員は災害時に

おける高齢者・障がい者の避難支援、三縄議員は市の防災計画の抜本的な見直しと太陽光発電の導入、若林議員は震災の東御市への影響と放射線の市の独自測定、櫻井議員はメガソーラーの導入、井出議員は災害により重要になってくる消防団の充実、清水議員

### 住宅リフォーム助成補助金 8月より受付開始へ

住宅リフォーム補助金申請手続きの簡素化を検討されたか

住宅リフォーム補助金申請書類は、10項目あるが、手続き簡素化をどう検討したか。

産業建設部長 個人情報保護職員が確認することへの同意書に押印してあれば、同意書と1から5まで計6項目の書類で良い。代理申請

も対応する。耐震工事とリフォームは併用でき。市長 申請が多くあり補助金が見えない場合は、状況を見て対応する。

住宅リフォーム制度で所得制限1200万円と決めた理由は

所得制限の1200万円はかなり高額だが決めた理由は。

森林整備地域活動支援事業での間伐事業への支援は行うのか

産業建設部長 住宅耐震補強工事の所得制限を1200万円と定めてあるのでこれに合わせた。出来るだけ多くの皆さんがこの制度をご利用していただく趣旨からしてこの所得制限にした。

都市公園遊具更新工事は、どの公園で何を

産業建設部長 都市公園の場所については、田町公園(二連ブランコ、滑り台、ブランコ用の安全柵、砂場)、田中公園(木製シーソー、三連の鉄棒、砂場)、西宮公園(二連ブランコ、滑り台、ブランコ用安全柵、彫刻2基撤去、スプリング遊具2基更新)、城ノ前公園(砂場更新)の4カ所であり、砂場の更新内容は、砂場の枠に、当たっても痛くないようにゴムチップカバーを設置する。

バリアフリー美術館事業推進で、視覚障がい者への支援期待

生涯学習部長 梅野美術館では、従来から対話型の鑑賞で実績等がある。今回講座を開催しガイドの皆さんの充実をはかっていく。

また、盲目の写真展も開催予定である。

# 常任委員会レポート

東御市

## 議会のうごき

- 5月**
- 6日 議会運営委員会
  - 9日 議会運営委員会  
平成23年第2回臨時議会  
議会改革推進委員会
  - 12日 19市農業委員会協議会総会  
19市選挙管理委員会連合会総会
  - 13日 東御市女性団体連絡協議会総会
  - 16日 まちづくり懇談会(田中地区)
  - 17日 まちづくり懇談会(滋野地区)
  - 19日 舞台が丘公共施設整備研究委員会視察  
社会福祉協議会理事会
  - 20日 上田広域連合議会代表者会
  - 23日 まちづくり懇談会(柗津地区)
  - 25日 まちづくり懇談会(北御牧地区)
  - 26日 議会運営委員会
  - 27日 上田広域連合議会臨時会  
まちづくり懇談会(和地区)
  - 28日 男女共同参画講演会・総会
  - 31日 土地開発公社理事会  
みまき福祉会理事会・評議員会

- 6月**
- 1日 湯の丸高原山開き
  - 2日 平成23年第2回定例会開会  
議会報告会実行委員会  
議会広報調査特別委員会
  - 6日 議会全員協議会  
舞台が丘公共施設整備研究委員会
  - 13日~14日 一般質問
  - 15日 全国市議会定期総会
  - 17日 総括質疑・委員会付託
  - 19日 消防団小型ポンプ操法・ラッパ吹奏大会  
湯の丸つつじ祭り
  - 20日~21日 常任委員会
  - 22日 正副委員長会
  - 24日 平成23年第2回定例会閉会  
議会全員協議会

- 7月**
- 4日 議会広報調査特別委員会
  - 7日~8日 長野県市議会議長会総会
  - 11日 上田バイパス建設促進期成同盟会総会
  - 15日 議会広報調査特別委員会
  - 12日 後期高齢者医療広域連合議会臨時会
  - 20日 東北信9市議会正副委員長研修会
  - 22日 議会広報調査特別委員会
  - 25日 平成23年第3回臨時議会

### 総務文教

#### 上田地域定住自立圏協定

#### 締結に向けて進む

総務文教常任委員会では、議案2件、陳情1件の審査を行いました。主な内容は、次の通りです。

**問** 市税条例の改正理由の主な内容は、

**答** 地方税法の一部改正する法律の施行に伴い、東日本大震災に係る雑損控除額等および住宅借入金等特別税額控除の適用期間について、特例を設けるものである。

**問** 市内の対象者は、

**答** 東日本大震災で市内に避難されている皆さんが対象。

**問** 上田地域定住自立圏形成協定の締結に向けて進むが、その目的は何か。

**答** 上田市と東御市が一对一で締結する協定で役割分担する定住に必要な都市機能及び生活機能を確保し充実させ、自立のための経済基



丸山晚霞記念館にて

盤を培い地域の活性化を図るのが目的。

**問** 協定の項目と主な取り組みは、

**答** ①生活機能の強化、②結びつきやネットワークの強化、③圏域マネジメント能力の強化で、医療、福祉、教育・文化、環境、産業振興、地域交通、地産地消、定住促進、人材育成・交流が取り組まれる。

**問** 事業に対して交付金があるようだが、金額は、

**答** 特別交付税で予算化され一千万円が限度額である。

**問** 今後の予定は、

**答** 7月上旬に関係市町村の合同調印が予定されている。

### 社会福祉

#### 充実した市民病院と建設進む保育園

今会議では、社会福祉常任委員会に付託された議案、請願、陳情はありませんでした。

6月20日に現地調査を行いました。

市民病院の視察では、旧透析室が広く明るい産婦人科の診察室と待合室になり、プライバシーが守られるよう配慮されていました。旧透析室の倉庫は、多目的診察室になり、

肛門科等の診察もできるように改装されていました。

子育て支援の視察は、大石区の滋野保育園の建設予定地を見ました。建設概要の説明では、平成23年度で造成工事、24年度で園舎工事を行うとのこと。

和保育園の建設予定地は、小学校の隣接地を希望しているとのことと、現地を視察しました。色々な



滋野保育園建設予定地視察

### 産業建設

#### 安全優先の原子力管理体制の確立を

本委員会は、6月17日に付託された請願1件、陳情2件について審査しました。

**請願第10号** 原発依存の原子力・エネルギー政策を根本から見直し、再生可能エネルギーへの計画的転換を求める請願書は、採択すべきものと決定しました。

**陳情第44号** 幹線道路「矢の沢線」のS字カーブ改良に関する陳情は、

採択し市長に送付すべきものと決定しました。

審議の中で出された意見としては、道路改良において一番の難点となる用地交渉に地元期成同盟会が積極的に協力するなど、地元区も最大限協力し道路改良を実現したいとの願望の趣旨については十分に理解できるものであるが、歩道も十分に整備されている現在の道路状



矢の沢線の現地視察

況を勘案すると、まずは杉林の日陰等による見通しの悪い道路状況を、支障木の伐採や、注意を喚起する看板等の設置など様々な道路改良の取り組みを優先すべきである。

また、国県の補助金等が見込めない中で、市の財政状況を十分に配慮すべき等の意見も出されました。

**陳情第46号** 福島第一原発の事故対策の強化、原子力政策の転換、自然エネルギーの研究開発・普及等に関する国あて意見書の採択を求める陳情については、趣旨採択すべきと決定しました。

# 議員 11人

# 市政を問う

# 議員の 問い への 答え

## 一般質問項目

- 自然エネルギーの積極的な導入を  
**井出進一**
- 消防団組織の実態と今後の充実と消防への支援について
- 県道「東部望月線」道路改良事業等の進捗状況と今後の見通しについて
- 東日本大震災に伴う市政への影響と防災の考えについて
- 原子力発電事故から電力不足が考えられるが、その対応策について
- 東日本大震災、長野県北部地震（栄村）に関連して
- 子どもの安心・安全、学校の安心・安全に関連して
- 災害時の対応について
- 誰もがともに理解し、支えあえる地域づくりについて
- 学校や地域における食の教育について
- 災害に備えて
- エネルギー政策について
- 東御市行政改革大綱について
- 市庁舎増改築工事入札における落札率についてどのように考えるか
- 東日本大震災・大津波・原子力発電所事故の東御市への影響はどうか
- 協働のまちづくりをどのように進めるか
- 長野県議会議員選挙の投・開票事務をどのように捉えているか
- 「日本一の生産地」のブランド維持への取り組みは

- 自然エネルギーの推進について
- 点と点を結ぶまちづくりについて
- 被災者支援システムの導入・運用について
- 自治体版 CSR(企業の社会的責任)の推進について
- 文化・芸術の振興について
- 地域における安全・安心の取り組みについて



机の下にもぐり込む避難訓練(田中保育園)



阿部 貴代枝議員

### 問

学校の避難訓練を地域・家庭と共に実施したらどうか

### 答

簡単にいかないが地域と学校が訓練していくか検討する

**問** 災害時における高齢者や障がい者等の避難の支援はどのようにするか。

**健康福祉部長** 東御市避難支援プランに基づき、災害時要援護者登録制度を推進し、昨年から制度の説明と普及に取り組んでいる。

**問** 学校は地域の避難の重要拠点になる。学校の避

難訓練を地域や家族と実施し、災害時の対応を共有すべきと考えるが。

**教育長** 避難訓練を地域と一緒にということは簡単にはいかないと思うが、今までの型にはまった避難訓練でなく、新たな発想に立って地域と学校が訓練していくか検討する必要がある。

**問** 誰もが共に理解し、支え合う地域づくりについて

**問** 心や体に障がいがあっても尊ばれ必要とされながら生きるために、障がいや行動が理解されなければならぬがその対策は。

**健康福祉部長** 市民の理解を深めるため、認知症、精神障がい、発達障がいに関するセミナーを開催している。

**問** 化学物質過敏症対策は。

**市長** ようやく病気ということの認定が国でなされた。現状では、個々の対応は限界がある。国と相談し、今後が可能か研究したい。

**問** 発達障がい等の相談訓練を行う施設の設置を。

**市長** 施設がない現状を前に向きに検討し始めている。

**問** 東日本大震災を受け、市として以下の事についての対策を伺う。

**総務部長** 市防災計画の見直しについては、国や県の関係機関や研究機関による分析や提言を参考に抜本的な見直しを行う。避難所の安全性については、バリアフリー、ガラスの飛散等について



災害時の拠点となる東御中央公園

**問** 太陽光発電についての考え方は。

**市長** 自然エネルギー施策は市において極めて重要な施策である。メガソーラーも市のよさをアピールする重要な施策につながる。県からの要請の2.5haについても慎重に関係者と協議する中で候補地を決めていきたい。



小山 義明議員

### 問

原発ゼロ、自然エネルギーの促進を

### 答

自然エネルギー対応をすすめたい

**問** 今回の原発災害は「原発安全神話」にたった原発依存のエネルギー政策にあった。市としても自然エネルギー開発に力を入れるべきだと考えるがどうか。

**市民生活部長** 市としても太陽光発電の促進へ補助制度の活用、普及、メガソーラーの検討、小型水力発電

**問** 東御市は、福島以外にも浜岡・柏崎・志賀・敦賀、など多数の原発に囲まれている。重大災害にそなえて放射線測定体制をとるべきだ。

**問** 東御市は、福島以外でも浜岡・柏崎・志賀・敦賀、など多数の原発に囲まれている。重大災害にそなえて放射線測定体制をとるべきだ。

**総務部長** 市民の関心が高いが、放射線測定は専門的で自治体が個々に対応するのは難しい。県・国がすべきだ。

**問** 今回の大震災をうけて、地域防災計画を見直すべきだ。

**総務部長** 国・県他の市町との関連を考えながら抜本的な見直しに着手する。



風力発電

**公共の耐震性について**

**問** 市内保育園、幼稚園、小中学校、市役所など公共施設の耐震性について。

**総務部長** 市庁舎など市公共施設の耐震性は進んでいる。保育園、小中学校でも順次、策を講じる方針だ。子どもの安心安全も質問した。

### 問

災害に備えて市民の安全安心への対応は

### 答

最もベストな方法で対応していく

については決して十分な状況ではないので対策を図る必要がある。

個人住宅の耐震化促進については、多くの対象家屋が、補強工事を実施するよう住宅リフォーム助成制度と合わせ周知する。防災訓練の内容については、各機関と協議し進める。防災公

園の整備は、トイレ、かまど等今後の防災計画の中で再検討する。要援護者の避難対策は現在二地区のみ説明済みであり、今後他の地区にも説明会を開き推進する。緊急情報医療キットについては、該当者への配布・情報の更新の方法を導入自治体を参考に検討したい。

**エネルギー施策について**



団地化されているサンファームのくるみ園

**問** 長野県のくるみ生産量が158tとある。市の生産量と栽培面積は。 **産業建設部長** 面積は約47ha、生産量は33tを見込む。

**問** 東御市の優良品種は世界に誇れるくるみである。先人が「日本一」のブランドを築きあげてきた。 **問** 市内の投票所の数と

**問** 東御市は南面傾斜や晴天率の地の利がある。 **市長** 候補地は送電線の有無も条件の一つ。メガソーラーは是非実現したい。

**メガソーラーは是非実現したい**

**問** 東御市は南面傾斜や晴天率の地の利がある。 **市長** 候補地は送電線の有無も条件の一つ。メガソーラーは是非実現したい。



建設が進む宮バイパス

**問** 県道東御望月線の道路改良は順調に推移していると思われるが、現在までの進捗状況と、宮バイパスの遅れ、下之城用水の排水対策との事業連携はどうか。 **産業建設部長** 進捗率は事業費ベースで平成22年度末約65%、用地買収の契約が約80%。未契約者が18名い

**問** 宮バイパスの供用開始はいつになるか

**市長** 県道東御望月線の位置付けとして、市民病院と佐久総合病院の高度医療センターを結ぶ1つのルートとして「命をつなぐ道路」であるという認識を強く持っている。 **渋滞の解消やスノーシールド付近の安全性の確保、未整備区間の整備に関してトンネルも選択肢として検討、協議してまいりたい。**



依田 俊良議員

**問** 行政改革大綱の成果は

**答** 改革は進んでいる

**問** 定数適正化で正職員20名が削減されたが、臨時職員の推移は。 **総務部長** 福祉や教育の専門資格を要する部門の臨時職員の増加でこの5年間で47名の増加である。

**問** 人材育成を積極的に進める具体策は。 **総務部長** 専門研修を選択する者が多いが、課長、部長といった階層において、知識、技能を養う研修に力を

**問** 中堅・若手を育てる抜てき人事を今後、考えていくか。 **市長** しっかりと職員が育つてくる、もしくはその役割によってその職員がさらに育つであろうという判断が要求されると認識している。そういう中で若くてもやる気があるって実力のある者に関して、必要なポストを与えていくのは、東御市においても必要である。



北御牧総合支所

**問** 文化会館の指定管理は3年目に入ったが、市民の声はどうかか。 **生活学習部長** アンケート調査では、75%のみなさんが、職員の対応がよいとの回答である。



若林 幹雄議員

**問** 東日本大震災における東御市への影響はどうか

**答** 当初影響が大きかったがここに来て持ち直している

**問** 東日本大震災の東御市への影響はどうか。 **総務部長** 先行き不透明な部分もあるが徐々に震災前の状態にまで回復してきている。

**問** 放射能の独自測定を



宮城県気仙沼市の被災状況

**問** 市長は放射能の独自測定はやらないというが、市民の安心・安全に配慮するためにやるべきではないか。 **市長** 検討している。東御市だけが単独で行うのは難しい。問題が山積している。 **問** 市には放射能測定器はないのか。 **答** 市民病院に1台ある。 ※ぜひ活用して市民の不安に応えてほしいと要請した。



櫻井 寿彦議員

**問** 「日本一の生産地」のブランド維持への取り組みは

**答** 団地化の研究を進め、品質と量の確保に努める

**問** 地化への取り組みは。 **産業建設部長** 毎年約450本が植栽され、3.5ha増えている。JAと連携し団地化の研究を進め、品質と量の確保に努める。

**問** 4人に1人は期日前投票者である。速報に反映されない大きな矛盾がある。 **選挙管理委員長** 県の要領により、投票所封鎖後に期日前投票を加算し速報した。投票速報は市の選管に委ねられ、今後の検討課題とした。



井出 進一議員

**問** 県道「東御望月線」道路改良の進捗状況と今後の見通しは？

**答** 宮バイパスの24年度供用開始に向け、契約の促進を図りたい

**問** 県道東御望月線の道路改良は順調に推移していると思われるが、現在までの進捗状況と、宮バイパスの遅れ、下之城用水の排水対策との事業連携はどうか。 **産業建設部長** 進捗率は事業費ベースで平成22年度末約65%、用地買収の契約が約80%。未契約者が18名い

**問** 宮バイパスの供用開始はいつになるか

**問** 「命をつなぐ道」と認識する **問** カクイチ前の渋滞対策、死亡事故のあった小学校前周辺の危険回避のための方策としてトンネルを設けることは考えられないか。 **市長** 県道東御望月線の位置付けとして、市民病院と佐久総合病院の高度医療センターを結ぶ1つのルートとして「命をつなぐ道路」であるという認識を強く持っている。



山梨県北杜市のメガソーラー

**問** 東御市で太陽光発電を行っている家庭、企業はどのくらいあるか。  
**市民生活部長** 6月1日現在で家庭が482件、1943・1KW、企業については2件123KW(太陽光発電システム設置補助事業の実績)である。

**問** 市に大規模太陽光発電、メガソーラー等を誘致する計画はあるか。  
**市民生活部長** ソフトバンクの孫社長が長野県などの自治体と協力してメガソーラーを全国に設置する方針を明らかにしており、今後県内市町村の候補地選定が本格化すると思われる。当市としても国、県の動向を

**問** 近郊市のように被災地でボランティアを希望する有志市民を募って現地派遣する予定はあるか。  
**総務部長** 被災地におけるボランティア活動は個人の意思で行う自己責任が伴うものであることから、市が主導して行うことは現状では考えていない。社協が相談窓口になっている。

**被災地支援について**

**問** 東御市にメガソーラー等を誘致するのにか  
**答** 市内でのメガソーラー適地を今年度中にしぼりこみたい



蓮見 喜昭議員

**東御市にメガソーラー等を誘致するのにか**

**問** 東御市にメガソーラー等を誘致するのにか  
**答** 市内でのメガソーラー適地を今年度中にしぼりこみたい



5月におきた羽毛山大日向線の落石状況

**問** 県道羽毛山大日向線への落石事故の早期復興と通学路の安全対策と通学支援について。  
**産業建設部長** 落石の防止のため詳細な現地調査を行い防止対策の検討をしている。

**問** 「被災者支援システム」は被災者一人一人の情報を集約し、円滑な行政サービスにつながるものである。導入・運用等の取組は。  
**総務部長** 的確な対応がで

**問** 文化芸術には人々の心を潤し、人々に共感、共鳴を与える力がある。市の文化芸術に対する考えと、振興の取り組みは。  
**教育長** 文化芸術は「さわやかな風と出会いの元気発信都市」として歩んでいくために欠かせないものである。引き続き市民に対して、小・中学校も含めあらゆる場所、機会をとらえ、文化・芸術の振興に取り組む。この他に次の質問をした。  
※自治体版CSR(企業の社会的責任)推進。  
※アナログ放送停波における市民への対応。  
※文化芸術振興条例制定。



依田 政雄議員

**県道「羽毛山大日向線」落石事故の対応と安全対策を調査をし、必要に応じた対策をとる**

**問** 県道「羽毛山大日向線」落石事故の対応と安全対策を調査をし、必要に応じた対策をとる



清水 新一議員

**溜池の地震に対する安全性について**

**問** 溜池の地震に対する安全性について  
**答** 先人の経験的技術により、築造され強固なものである



溜池「和池」 昭和28年築造

**問** 金原ダムおよび溜池の安全性についてどのようなように考えているか。  
**産業建設部長** 県営金原ダムは平成12年に建設され、近隣における過去の地震のデータをもとに、震度5強の耐震設計がなされている。溜池については、横堰池や前橋池は平成以降に竣工

した比較的新しい施設であり、安全性は金原ダムと同様と考えている。その他の溜池は築造年数が古く、強度に関するデータはありませんが先人の経験的技術により築造されており、強固なものであると考えており、また溜池の点検は、長野県や土地改良事業団体連合

**問** 避難場所は小学校となっているが、地区の公民館も耐震を図っている。避難場所としてはどうか。  
**総務部長** 公民館の耐震診断を行い震度6強に対応できる施設改修を進めているので、避難所として災害には活用していただけるものと考えている。

**問** 溜池の見回りや定期的に診断した結果を地元の関係者に提供したり、調査に同行することはどうか。  
**産業建設部長** 調査についてはマニュアルの中で設定されており、地元の関係者の同行も可能とし、結果についても知らせる。



山崎 美喜子議員

**小学校区単位の自治組織の具体的構想は**

**問** 小学校区単位の自治組織の具体的構想は  
**答** 時間はかかっても、着実に作りあげたい



滋野地区活性化委員会によるくみ料理コンテスト

**問** 滋野地区が選ばれた理由は何か。会議ではどんな検討がされたのか。今後どんな日程で進められるのか。財政支援の具体的な構想は。  
**総務部長** 滋野地区はくみコンテスト、アマワラビ栽培など住民が知恵と工夫を凝らし取り組んでいる。

**問** 子育て支援の充実を  
**答** 保健師の配属で子育て支援センターと子育て

**問** 新しいパート医師4名の勤務で経営はよくなるか。旧透析室の改築後の活用は。災害時医療救護活動マニュアルは、策定されているか。  
**病院事務局長** 専門分野の診療で患者の増加が経営にプラスになる。旧透析室は、産婦人科の診察室と待合室になる。医療活動マニュアルは策定していない。

**問** 市民病院について  
**答** 市民病院について

# 第2回定例会で承認・可決した条例等

◆**議案第42号**……………東御市税条例の一部を改正する条例  
東日本大震災により住宅や家財等に生じた損失金額は、市民税の雑損控除として適用すること、また、住宅借入金等特別税額控除の適用を受けていた住宅が東日本大震災により居住に適さなくなった場合も、引き続き控除を適用することができ

◆**議案第43号**……………上田地域定住自立圏形成協定の締結について  
定住自立圏形成は、上田圏域が将来にわたり安心して暮らせる地域として存続できるよう、上田市が圏域全体の中心的役割を果たしながら、周辺市町村との連携・協力の下に圏域全体の生活機能強化に取り組み

◆**議案第44号**……………固定資産評価審査委員会の委員の選任について  
矢羽利忠さん(西海野区)が選任されました。

## 請願 陳情など

◆**請願第10号**……………原発依存の原子力・エネルギー政策を根本から見直し、再生可能エネルギーへの計画的転換を求める請願書

陳情書

◆**陳情第46号**……………福島第一原発の事故対策の強化、原子力政策の転換、自然エネルギーの研究開発・普及等に関する国あて意見書の採択を求める陳情書

▽**請願者** 平林 千秋

▽**陳情者** 矢の沢線道路改良期成同盟会

▽**陳情者** 上小地区労働組合会議

▽**紹介議員** 山崎美喜子

▽**審議結果** 採択

▽**陳情者** 人にやさしい地域づくりの会

◆**陳情第45号**……………公立学校施設における防災機能の整備の推進を求める陳情書

▽**陳情者** 人にやさしい地域づくりの会

▽**審議結果** 趣旨採択

◆**陳情第44号**……………幹線道路「矢の沢線」のS字カーブ改良に関する請願書

▽**陳情者** 人にやさしい地域づくりの会

▽**審議結果** 趣旨採択

◆**陳情第46号**……………福島第一原発の事故対策の強化、原子力政策の転換、自然エネルギーの研究開発・普及等に関する国あて意見書の採択を求める陳情書

▽**陳情者** 上小地区労働組合会議

▽**審議結果** 趣旨採択

### 公立学校施設における防災機能の整備の推進を求める意見書

1 公立学校施設を対象として、今回の東日本大震災及び長野県北部地震で明らかになった防災機能に関する諸課題について、阪神・淡路大震災や新潟県中越沖地震など過去の大規模災害時における事例も参考にしつつ、地域に即した検証を行うこと

2 公立学校施設を対象として、避難場所として備えるべき、必要な防災機能の基準を作成するとともに、地方公共団体に対し、その周知徹底に努め、防災機能の整備向上を促すこと

3 公立学校施設を対象として、防災機能の整備状況を適宜把握し、公表すること

4 公立学校施設の防災機能を向上させる先進的な取り組み事例を収集し、様々な機会を活用して地方公共団体に情報提供すること

5 公立学校施設の防災機能向上に活用できる国の財政支援制度に関して、地方公共団体が利用しやすいよう、制度を集約し、窓口を一元化すること

### 原発依存の原子力・エネルギー政策を根本から見直し、再生可能エネルギーへの計画的転換を求める意見書

福島第一原子力発電所の事故は、原発の危険性を国民の前に明らかにし、いまだに住民の安心・安全にとって看過しえない重大事態が収束せず進行中である。

そこで、国は福島第一原子力発電所事故の一刻も早い収束と根本的原因究明はもとより、国内すべての原子力発電所の安全確保に万全を期するとともに、下記事項について特段の措置を講ずることを強く要望する。

記

1 国は、原発依存の原子力・エネルギー政策を根本から見直すとともに、安全優先の原子力管理体制をとること

2 エネルギー政策の基本を再生可能エネルギー(自然エネルギー)に切り替え、計画的推進をはかること

### 福島第一原発の事故対策の強化、原子力政策の転換、自然エネルギーの研究開発・普及等に関する意見書

3月11日に東日本を襲った巨大地震と津波は、2万5千人近い死者・行方不明者を出し、今も救援・捜索活動や避難所での被災者の苦難の生活が続いている。福島第一原発では、広範囲に放射性物質が飛散し、大気や土地、海洋、農畜産物、海産物などを汚染している。現在もなお、放射性物質の放出は止まらず、避難した人々は居住地に帰ることができるかどうかも見通しが立たない事態となっている。

今回の大事故は、今後の原発やエネルギー政策のあり方について課題を投げかけた。原子力に頼るエネルギー構造を根本的に転換し、自然(再生可能)エネルギーの研究開発、普及を急速に進めていくことが求められている。

よって、国は福島第一原発の事故対策の強化及び原子力政策の転換、原子力防災対策の見直し、自然エネルギーの研究開発・普及促進、省エネルギーの対応等について迅速に対応するよう強く要請する。

## 定例会の提出案件の審議結果

採決結果▶◎全会一致で可決、同意、承認  
○賛成多数で可決 ×否決

議案番号	案 件	採決結果	常任委員会審査結果		
			総務文教	社会福祉	産業建設
議案第39号	平成23年度東御市地域改善地区住宅改修資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)の専決処分の承認を求めることについて	◎	—	—	—
議案第40号	平成23年度東御市一般会計補正予算(第2号)	◎	—	—	—
議案第41号	平成23年度東御市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	◎	—	—	—
議案第42号	平成23年度東御市税条例の一部を改正する条例	◎	◎	—	—
議案第43号	上田地域定住自立圏形成協定の締結について	◎	◎	—	—
議案第44号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	◎	—	—	—
請願第10号	原発依存の原子力・エネルギー政策を根本から見直し、再生可能エネルギーへの計画的転換を求める請願書	◎	—	—	◎
陳情第44号	幹線道路「矢の沢線」のS字カーブ改良に関する陳情書	◎	—	—	◎
陳情第45号	公立学校施設における防災機能の整備の推進を求める陳情書	◎	◎	—	—
陳情第46号	福島第一原発の事故対策の強化、原子力政策の転換、自然エネルギーの研究開発・普及等に関する国あて意見書の採択を求める陳情	趣旨採択	—	—	趣旨採択

常任委員会審査結果の一印は、委員会に付託されなかった案件です。

### 平成23年東御市議会第2回臨時会開催

平成23年東御市議会第2回臨時会が5月9日に開催されました。

この議会では、平成22年度一般会計補正予算等の専決処分、平成23年度一般会計補正予算工事請負契約の締結など議案5件が提案され、いずれも原案どおり承認・可決しました。

◆**議案第34号**……………平成22年度東御市一般会計補正予算(第8号)  
(専決処分の承認)  
国・県補助金や交付金、事業費の額が確定し、歳入・歳出ともに3億7345万円の補正を行いました。

◆**議案第35号**……………平成22年度東御市国民健康保険特別会計補正予算(第4号) (専決処分の承認)  
国庫支出金収入額が確定したため、歳入予算の組替えによる補正を行いました。

◆**議案第36号**……………東御市国民健康保険税条例の一部改正  
(専決処分の承認)  
地方税法施行令の改正

◆**議案第37号**……………平成23年度東御市一般会計補正予算(第1号)  
東日本大震災の被災地支援に赴くために要する経費や被災され市内に避難された皆様の受入れを行うための経費として、2066万円の補正を行いました。

◆**議案第38号**……………東御市庁舎等増改築工事請負契約の締結  
4月25日に実施した一般競争入札の結果、株式会社竹中工務店東京本店と、16億313万円の請負契約を締結することについて議決したものです。

# あすの東御市

## 全員協議会から

### 上田地域定住自立圏形成に関する協定の締結について

今回の議会において上田 内容についてお知らせします。地域定住自立圏に関する協定が締結されました。その



### 上田地域定住自立圏協定項目一覧

- ①救急医療と周産期医療の再構築を核とする上小医療圏の再生を目標とした『上小医療圏地域医療再生計画』に基づいた各種事業を実施する。
- ②障害児担当保育士の連携により、圏域での支援体制を強化する。（仮称）発達支援センターの設置を検討する。
- ③成年後見や権利擁護に関する相談受付、市町村等への助言、後見申立支援、制度の普及啓発等を総合的に行う（仮称）成年後見支援センターの設置を検討する。
- ④圏域の不登校児童・生徒の相談支援体制を充実する。
- ⑤圏域の発達障害の小・中学校の児童・生徒を対象にしたきめ細かな支援体制を充実させる。
- ⑥社会全体の共通財産である森林を守り、育むとともに、間伐材や林地残材の有効活用を図る。
- ⑦アカマツの松くい虫による立ち枯れを防止し、圏域内の山村の森林機能を保全するため、森林病害虫等防除法に基づいた松くい虫防除対策を総合的に進める。
- ⑧年々深刻化している野生鳥獣による農林業被害の軽減に向けて、圏域内市町村が連携した対策事業を実施する。
- ⑨千曲川工業ベルト地帯における『層の厚いものづくり産業』『価値創造型ものづくり基盤技術産業』の集積を目指し、人材育成・確保、技術支援、事業環境整備、企業誘致体制の強化等に取り組む。
- ⑩圏域市町村共同による就職面接会を開催する。
- ⑪広域的なモデルコースの作成など、誘客につながる広域観光の推進を図る。
- ⑫アンテナショップの共同設置について検討を行う。
- ⑬『上田地域30分（サンマル）交通圏構想』を中心とした渋滞緩和及び圏域内外との交流のための道路網整備を進める。
- ⑭圏域内での地元農産物の消費拡大を図るため、圏域内流通や活用を促進し、事業者が行う販路拡大に向けた活動を支援する。
- ⑮圏域内への人口定住を促進するため、都市部での各種PRの実施やUターン希望者に対して、情報提供を行う。
- ⑯市町村の実情や業務ノウハウ等の情報交換・人的交流を行い、職員の資質向上並びに圏域全体の行政力の向上を図る。

### 定住自立圏とは何か

いま地方では少子・高齢化、人口減少の中で地域活力の低下が懸念されています。一方厳しい財政事情の中、すべての市町村に生活機能の整備することは困難

なっています。

そこで中心市が圏域全体の中心的な役割を果たしながら、周辺町村との連携・協力の下に、圏域全体の生活機能の整備について取り組むことで、圏域の定住人口の確保と交流人口の創出を

図ろうとするものです。

一つの自治体ではなかなか難しい課題も、中心市の機能を活用することでより低コストで実現が可能になります。全体のイメージは別図を参照してください。

### 中心市は上田市

上田地域定住自立圏の構成市町村は中心市（人口5万人程度以上）が上田市で、関係市町村が東御市、長和町、青木村、坂城町、立科町の6市町村で構成されます。取り組むべき課題は16項目（別表参照）。

今後は7月に関係市町村の合同調印、12月に共生ビジョンを策定する予定です。

東御市においては佐久市とも定住自立圏を形成する予定もあり、いくつかの項目で上田地域と重複する場面もあります。

この自立圏を形成することにより、中心市には年間4千万円、関係市町村には年間1千万円が交付税で措置される予定です。協定期間は5年間です。

## 市民に開かれた議会めざして

東御市議会は、これまで市民に開かれた議会を実現するために議会報告会や一問一答方式による一般質問を導入してきました。これからの議会改革推進委員会と議会報告会実行委員会の活動内容についてお知らせします。

### 現在の社会状況の中で

議院に対する見方が大変厳しくなっています。議員数が多い、報酬が高い、何をやっているのか、との声が聞かれます。そんな東御市議会においても合併後、今日まで議会改革については議論をしてきました。その結果主なものとしては議員定数の削減、昨年度行われた議会報告会

な東御市議会においても合併後、今日まで議会改革については議論をしてきました。その結果主なものとしては議員定数の削減、昨年度行われた議会報告会

更に、よりよい東御市議会を目指し、昨年十一月より新たに「議会改革推進委員会」を設置し検討をはじめました。

### 住民との直接対話 議会からの情報発信

「議会は何をしているのか」そこから見えてくるものは、市民の皆様に信頼していただける議会ではなくてはなりません。そのためには住民との直接対話、議会からの情報発信を十分に行う必要があります。住民の負担に出来るべく、チェック機能として、政策面での向上は不可欠であると考えております。市民の皆様

の安全、安心を守る事ができ、期待に出来る事のできる東御市議会を目指し、議会改革を推進して参ります。

委員長 三縄 雅枝

## 議会改革推進委員会から



一問一答方式を導入した一般質問

## 議会報告会を開催します

**日時** 平成23年10月22日（土）午後1時30分から  
**場所** 中央公民館三階講堂



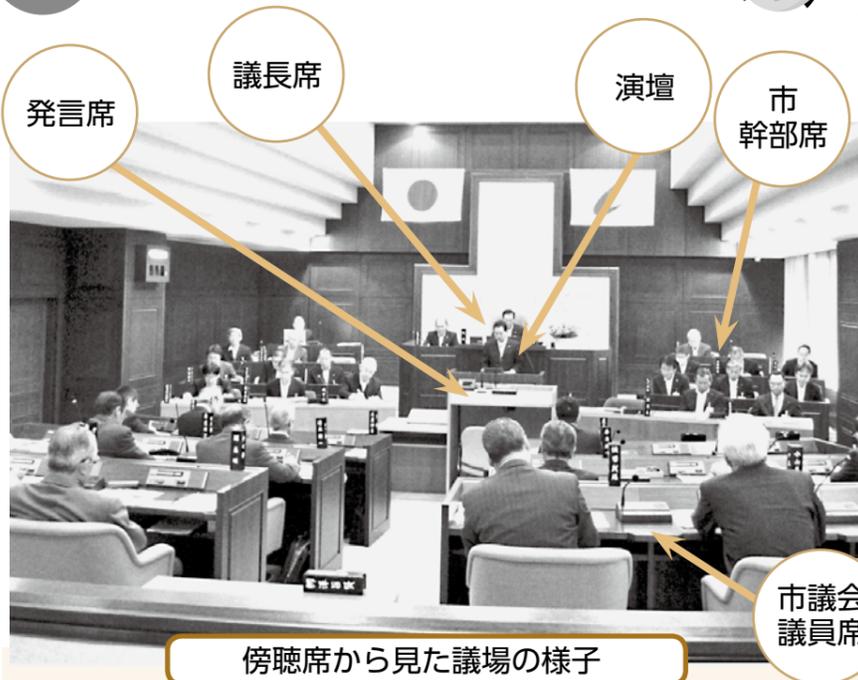
昨年行われた議会報告会

東御市議会では、現在議会改革推進委員会を設置し改革に取り組んでいます。その一環として「市民に開かれた議会」「市民との協働のまちづくり」を目指して、市民の皆様が議会及び議員活動について知っていただき、ご意見やご要望

をお聞かせいただくために「議会報告会」を開催致します。当日は、映像により議会活動を分かりやすく紹介したいと考えておりますので、大勢の皆様のご出席をお願い致します。

委員長 町田 千秋

## Q4 議場ってどうなっているの？



傍聴席から見た議場の様子

※発言席は議員が一般質問するところです。

議場は市庁舎の改修に伴い、5月に北御牧庁舎3階に移転になりました。平成24年6月までここで議会が開かれます。

## Q3 議会の流れは？



- 1 **議案の提案** 市から議案の提案がされ説明を受ける。
- 2 **一般質問** 行政の課題などについて議員が質問する。
- 3 **総括質疑** 議案全体について質疑をする。
- 4 **常任委員会** 担当分野の常任委員会で審議する。
- 5 **予算・決算特別委員会** 3月議会や9月議会においては、特別委員会でさらに審議する。
- 6 **議案の決定** 議会開会中の審議をふまえ、提案された議案について議決を行う。

## Q1 議会はいつ開くの？



議会は、定例会が3月・6月・9月・12月の4回開催されます。3月には予算が審議され、9月には決算が審議されます。6月と12月の議会では補正予算が審議されます。このほか、必要に応じて臨時議会が開催されます。

## Q2 議員の数は何人？



平成16年4月の合併時には36名(旧東部町20名・旧北御牧村16名)。11月の改選時に22名に削減。平成20年11月の改選では19名に削減しています。東御市と同規模人口の市の状況は以下のとおりです。

- 駒ヶ根市……15名(人口3万4千人)
- 大町市……20名(人口3万2千人)
- 飯山市……17名(2万4千人)

## Q5 議員の報酬はいくら？



月額報酬は273,000円で、長野県下19市中18番目となっています。長野県内の勤労者の平均賃金(273,990円)と同じくらいの水準です。(注:平成22年度長野県賃金実態調査より)

## Q6 議会は何をするの？



市側が提案した議案を、本会議や委員会を通じ、審議し決定します。市の行財政の運営等が公平・効率的に行われているかチェックすることです。

## 常任委員会とは？

常任委員会とは、より効率的効果的に審議を行うことができるよう、分担をきめて審査するための機関です。総務文教常任委員会、社会福祉常任委員会、産業建設常任委員会の3つの委員会があります。

そこが聞きたい！ 特集

# 議会

# Q

# & A

## Q7 議会が開かれていない時は何をしているの？



議会が開かれていない時でも、各種委員会・審議会や様々な地域の行事に出席します。

行政の課題についての先進地の視察や、一般質問のための聞き取りや調査、地域住民からの相談に応じています。

## お声をお聞かせ下さい

議会のことについて、お聞きしたいこと、ご不明なこと、意見、提案等がございましたら、議会事務局(☎67-3582)、または、お近くの議員へお尋ねください。問題、課題をみんなで考えて行きます。

意外と知られていない議会？

「議会のことを、あまり知らない」「議会って何をしているのかわからない」という声をときどきお聞きします。今回は、議会の内容を質問形式で、市民の皆様にお知らせ致します。

## 東日本大震災及び長野県北部地震で思ったこと



東城 正彦 さん  
(西海野)

この度の東日本大震災及び長野県北部地震において、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災された多くの皆様には、早期に復興されることを願うものです。

しかしながら、震災から早三ヶ月が過ぎるといのに、復興がなかなか進んでいかない状況と、マスコミ報道の国会内の対応に、苛立ちを感じます。

震災直後に報道されていますが、自治体の職員や医療関係者は、自分自身が被災者なのに、自宅の事などは後回しにして、地域住民や被災者

の為に奮闘している姿が映し出されています。

被災者は、そのように奮闘している職員に対して、「感謝していると共に、職員の方も少ない人数で本当に大変だと思う。」と述べていました。

その時に感じた事は、現在、国や地方自治体は、人件費を削減すればなんでも良いと思っっているのではないかと感じてしまいます。

住民福祉や安心、安全に暮らせる自治体を目指すのが行政ではないだろうか。

そこで、市会議員の皆様には、議会の中で、消防や医療を含めた職員数や、緊急車両の数が適正であるかどうかを議論していただき、住みよい東御市にするために、議会内外でご奮闘をお願いしたいと思います。

明日の東御市を拓く市議会◆あなたも参加しませんか…

# 議会傍聴へようこそ

## 第3回定例会は

## 9月に予定されています。

### あとがき

市役所庁舎の増改築により、定例会としては初めて旧北御牧役場の議場を使用しての議会となりました。

緑に囲まれた立派な議場であり、来年6月の定例会まで使用されることとなります。

今回の定例会の特徴として「大震災関連と自然エネルギー」に関わる一般質問が多く出され被災された地域の一日も早い復興と、原子力エネルギー政策の在り方が問われた議会でもありました。

「市議会だより」が今回の発行で30回を迎え、広報委員会として、市民の皆様により分かりやすく、親しんで読んでいただける「市議会だより」づくりに努めて参ります。

引き続き皆様からのご意見・ご要望をお寄せください。

櫻井 寿彦

### 広報委員

若林 幹雄  
蓮見 喜昭  
土屋 伸吉  
阿部貴代枝  
櫻井 寿彦

依田 俊良  
依田 政雄  
長越 修一  
柳澤 旨賢

### ご意見・ご感想

市議会だよりについて、ご意見・ご感想また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【発行・お問い合わせ】

## 東御市議会・事務局

〒389-0404 長野県東御市大日向337

TEL.0268-67-3582

FAX.0268-67-3583

再生紙を使用しています



資源保護のため、リサイクルしやすい大豆油インクを使用しています。

〔東御市議会広報紙〕

第30号

◆発行日/平成23年8月1日 ◆発行/東御市議会

◆編集/東御市議会広報調査特別委員会 印刷/中沢印刷株式会社